

# 重要なコミュニケーションのための 新たな要請

失敗が許されない音声コアの最新化

## 目次

エグゼクティブサマリー .....	1
信頼性ギャップの増大 .....	2
Avaya Nexus™ アーキテクチャの利点 .....	2
ミッションクリティカルな業界 .....	3
今後の道筋: すべての人のための 最新化戦略 .....	3

## エグゼクティブサマリー

エンタープライズコミュニケーションの状況は、重要な岐路に立っています。10年以上にわたり、業界は、音声、ビデオ、メッセージングを単一のプラットフォームに統合する、Unified Communications (UC) の「ワンサイズですべてに対応」モデルを追求してきました。しかし、クラウドネイティブのコラボレーションツールに重点を置いたこの「ワンサイズですべてに対応」戦略は、多くのナレッジワーカーのニーズに応える一方で、音声クリティカルおよびミッションクリティカルな分野の要件を満たすには不十分です。

コミュニケーション障害が単なる不便ではなく、公共安全、医療、金融、重要インフラなどにおいて壊滅的な事態となり得る環境では、妥協のない信頼性、安全性、回復力を備えた音声プラットフォームが最も必要とされています。これは、人命、金融の安定、国家安全保障が危機にさらされているときに必要とされるものです。

Avaya Nexus™ プラットフォームは、このギャップに対処するために設計されたアーキテクチャの進化形です。これは、音声通信が極めて重要かつミッションクリティカルな環境向けに設計された、最新鋭で堅牢かつ高可用性の音声コアを提供します。Avaya Nexus™ により、組織は「両方の利点を兼ね備えた」戦略を採用できます。つまり、安全で企業管理型の音声基盤と、ユーザーが求めるコラボレーションツールの柔軟な統合を組み合わせることができます。本稿では、ミッションクリティカルな音声通信の必要性を高める市場要因、Avaya Nexus™ プラットフォームのアーキテクチャ上の利点、および主要産業におけるその応用例について論じます。

**Avaya Nexus™**  
は、Avaya Aura® の代  
替品ではなく、その戦略  
的な近代化です。  
これにより、組織は信頼  
できる基盤システムを  
将来を見据えたアーキ  
テクチャへと進化させる  
ことができます。

## 信頼性ギャップの増大

業界で主流となっている論調は、すべてのコミュニケーションをマルチテナントのパブリッククラウド UCaaS プラットフォームへ移行することを推進してきました。オールインワンプラットフォームはコラボレーションに優れていますが、QoS (サービス品質) の設定がない場合、そのアーキテクチャでは通常、音声トラフィックはファイルダウンロードやビデオストリーミングなど、ネットワーク上の他のトラフィックと同じ優先順位を与えられます。

これは、以下の重大な課題を生み出します。

- **「十分」の失敗:** 緊急指令センター、病院の緊急警報システム、金融取引フロアなど、一秒一秒が重要な環境では、このレベルのリスクは容認できません。これらの企業にとって、パブリッククラウドプロバイダーが提供するサービスレベル契約の財務保証は、依然として潜在的なダウンタイムを許容しており、組織の要件を満たすには「十分」とは言えません。
- **市場の二極化:** その結果、市場は分裂しました。組織は、一般的なコラボレーションレイヤーをコアの運用音声インフラストラクチャから切り離しています。オフィスワーカー向けには最先端のツールを採用する一方で、ミッションクリティカルなコアシステム向けには堅牢で専用のソリューションを求めています。

この二極化は、「1つのクラウドですべてに対応」という時代の終焉を告げるもので、専門的で回復力のあるコミュニケーションレイヤーの必要性が高まっていることを示しています。

## Avaya Nexus™ アーキテクチャの利点

Avaya Nexus™ は、Avaya Aura® の代替品ではなく、その戦略的な近代化です。これにより、組織は信頼できる基盤システムを将来を見据えたアーキテクチャへと進化させることができます。Avaya 以外のお客様向けに、あらゆるコラボレーションスイートと統合できる、最高の強化された音声コアを提供します。このアーキテクチャは、妥協のないパフォーマンスを提供するために、最新の原則に基づいて構築されています。

- **クラウドネイティブおよびコンテナ化:** Kubernetes 上に構築された Avaya Nexus™ は、アプリケーションを分離されたコンテナで実行されるマイクロサービスに分割します。この設計は、単独サービスが障害を起こしてもシステム全体に影響を与えないため、レジリエンスを向上させます。また、更新を簡素化し、リアルタイムの需要に基づいて個々のコンポーネントを動的にスケーリングできます。
- **導入の柔軟性 (「クラウド対応」):** Avaya Nexus™ はインフラストラクチャに依存しません。ハイパースケーラー経由でオンプレミスに、または専用クラウドに導入できます。この柔軟性は、公共のマルチテナント UCaaS ソリューションでは対応できない厳格なデータ常駐、セキュリティ、運用要件を満たす必要がある規制対象企業にとって不可欠です。
- **レジリエンスとスケーラビリティの向上:** Avaya Nexus™ は、キャリアグレードのコンポーネントを導入し、極限のパフォーマンスニーズに対応します。

Avaya Nexus™ プラットフォームに対する需要は、さまざまな業種における具体的かつ重要な要件によって推進されています。そのアーキテクチャは、障害が深刻な結果をもたらすワークフローをサポートするように明確に設計されています。

- **Kamailio:** 高性能 SIP サーバーがコアルーティングを引き継ぎ、公共の緊急事態など、トラフィックの大規模な急増を処理するための大きなスケーラビリティを提供します。
- **マルチ AZ 高可用性:** アーキテクチャは物理的に独立したデータセンター（可用性ゾーン）に分散できます。ゾーンが完全に停止した場合、残りのゾーンは中断することなくコール処理をシームレスに維持します。
- **強化された集中型セキュリティ:** Avaya Nexus™ プラットフォームは、「ゼロトラスト」時代向けに設計されています。
- **KeyCloak:** このコンポーネントは、OAuth 2.0 や LDAP フェデレーションなどの機能を使用して、最新 ID とアクセス管理、認証の一元化、セキュリティの強化を実現します。数千台のデバイスにわたるセキュリティ証明書管理を簡素化し、障害の一般的な原因を削減します。

この最新のアーキテクチャにより、組織は独自の条件で近代化を進めることができ、ミッションクリティカルな音声運用に必要な制御でクラウドの俊敏性を実現できます。

## ミッションクリティカルな業界

Avaya Nexus™ プラットフォームに対する需要は、さまざまな業種における具体的かつ重要な要件によって推進されています。そのアーキテクチャは、障害が深刻な結果をもたらすワークフローをサポートするように明確に設計されています。

**政府および公共部門:** 指揮統制センター、911緊急通報指令センター、災害対応調整部門において、揺るぎないコミュニケーションは公安と国家安全保障の問題です。Avaya Nexus™ は、必要なレジリエンスを提供し、JITC 認証やセキュアな施設向けの専用クラウド導入などの厳格な要件をサポートします。

**医療:** 呼をドロップやページの遅延は、生命や死に至る可能性があります。Avaya Nexus™ は、「コードブルー」アラート、緊急トリアージライン、モバイル医療カートやナースコールシステムとの統合において、人命救助に役立つ信頼性を提供すると同時に、HIPAA（医療情報に関する法律）への準拠維持にも貢献します。

**金融サービス:** 高頻度の取引フロアや銀行間決済では、大規模な金融負債を防ぐために、瞬時の高忠実度のコミュニケーションが不可欠です。Avaya Nexus™ は、即時の通話設定を提供し、規制上の義務を満たすために必要な「常時稼働」の録音システムと統合します。

**産業・公益事業:** 原子力発電所の制御室、送電網管理センター、工場現場などの環境では、インフラの保護と作業員の安全確保のためにコミュニケーションが不可欠です。

## 今後の道筋:すべての人のための最新化戦略

通信環境は進化していますが、信頼性、安全性、拡張性、回復力のある音声に対するニーズはかつてないほど重要になっています。

組織は、ナレッジワーカーが好むクラウドコラボレーションスイートを維持しつつ、専用の強化された、グローバルに信頼される音声プラットフォームで重要な業務を支えることができます。

- **既存の Avaya Aura® のお客様の場合:** Avaya Nexus™ は、強制的な「既存システムの置き換え」移行ではなく、進化を意味します。エンドポイント、ゲートウェイ、ライセンスへの多額の投資を維持しながら、コアインフラストラクチャを近代化する意図的なパスを提供します。お客様は、信頼性とセキュリティを向上させると同時に、次世代 AI 搭載サービスの基盤などを構築することができます。
- **Avaya 以外のお客様の場合:** Avaya Nexus™ は、「両方の利点を兼ね備えた」コミュニケーション戦略を構築する機会を提供します。組織は、ナレッジワーカーが好むクラウドコラボレーションスイートを維持しつつ、専用の強化された、グローバルに信頼される音声プラットフォームで重要な業務を支えることができます。

汎用 UC はコモディティ化している一方で、ミッションクリティカルな音声通信は依然として不可欠で価値の高い機能です。Avaya Nexus™ プラットフォームは、世界で最も重要な会話の未来を守るために必要な制御、セキュリティ、高性能を提供します。

## アバイアについて

Avaya Infinity® と Avaya Nexus™ は、共に Avaya の次世代コミュニケーション戦略のバックボーンを形成します。Avaya Infinity® は、ハイブリッド環境全体にわたってデジタル、音声、AI のチャネルを接続する統合されたクラウドネイティブなオーケストレーションプラットフォームを提供し、一方 Avaya Nexus™ は、比類のない精度、レジリエンス、コンプライアンスでミッションクリティカルな音声レイヤーを支えます。これらを組み合わせることで、革新性と信頼性の両方を求める企業にとって、拡張性と将来性を備えたソリューションを提供します。詳細については、[www.avaya.com](http://www.avaya.com) をご覧ください。

